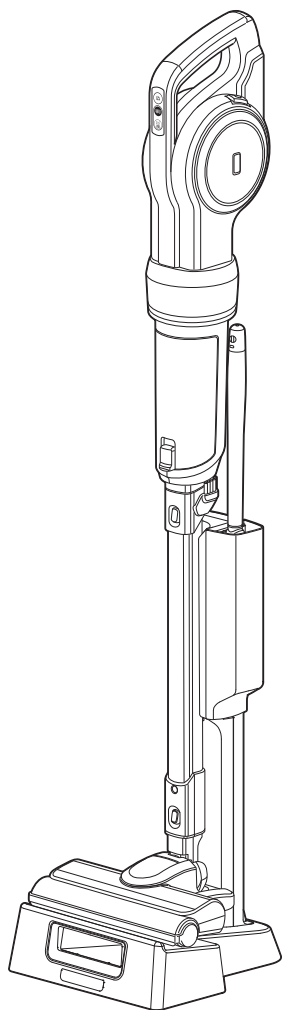


キャニスティッククリーナー KIC-CSP5

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5

取り扱いかた

準備	7
使いかた	10
お手入れ	14

こんなときには

故障かな？と思ったら	17
仕様	19
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



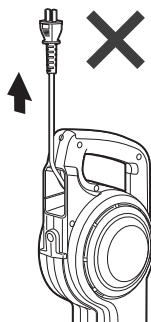
警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源コードはまっすぐに引き出す
電源コードを無理に横や縦に引き出すと、本体とこすれて破損し、火事の原因になります。
- 電源コードは、必ず黄マークまで引き出して使う
過熱して火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

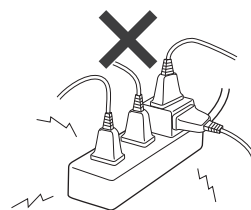
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードは赤マーク以上引き出さない
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。

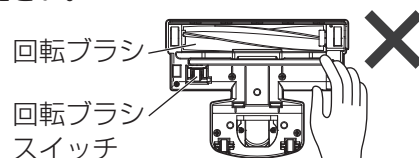


分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



- 使用中は、回転ブラシや回転ブラシスイッチに触れない
ブラシが突然回転して、けがの原因になります。特に乳幼児に注意してください。お手入れは、電源コードを抜いて行ってください。





- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- スプレーをかけたり、吸わせたりしない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
 - 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど）、可燃性のものを吸わせない
 - 油煙や湯気を吸わせない
 - じゅうたん洗浄剤など、泡状・液状のものを吸わせない
 - 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
- 吸い込むと火災の原因になります。



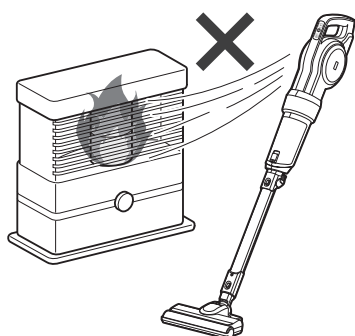
注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり火災などの原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- 火災・感電の原因になります。



- 電源コードを巻き取るときはコードを持ちながらゆっくり巻き取る
- 勢いよく巻き取ると、電源プラグが当たってけがをすることがあります。



- 運転中に電源コードを巻き取ったりしない
- 事故の原因になります。



- 吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない
 - 排気口をふさがない
- 過熱による変形・故障・火災の原因になります。



- 紙パックは純正品を使用する
- 当社純正品以外の紙パックを使用した場合、火災の原因になることがあります。また、紙パックは正しく取り付けてください。



- 破れた紙パックは使わない
- 吸い込んだごみがまき散らされ、周囲の汚損や、健康を害するおそれがあります。



- 掃除以外の用途に使用しない
- 異常動作・火災の原因になります。
- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない
- 本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。



- 乗ったり、寄りかかったりしない
 - 幼児の手の届く範囲では使用しない
 - 子供に遊ばせない
- けがの原因になります。
- 屋外では使用しない
- 故障してショートや火災の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

フィルターが詰まると、過熱防止のために自動的に吸引力を下げて運転します。ごみを捨て、フィルターのお手入れをしてください。

- 水や液体、ぬれたごみなど
- 多量の粉（消火器の消火剤など）
- 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど
- 多量の砂、小石など
- ペットの糞などが付着したもの
- 多量のごみ
- 大きなごみ
- ビニール袋やストッキングなど内部につまりやすいもの

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

消耗部品・別売品について

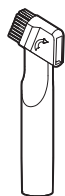
- 別売品については、お買い上げの販売店またはアイリスプラザでお買い求めください。

- スポンジフィルターについては、アイリスコールへご連絡ください。

すきまノズル

（別売品）

CSN29-B



静電モップ

（別売品）

CHMO2-W



使い捨てダストパック

（別売品）

FDPAG-400



スポンジフィルター



モーターの保護装置について

ごみがつまったりしてモーターに負担がかかると、保護装置が働き運転が停止します。保護装置が働いたときは、必ず次のようにしてください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2 つまっているごみなどを取り除き、内部が冷めるまで1時間ほど置く

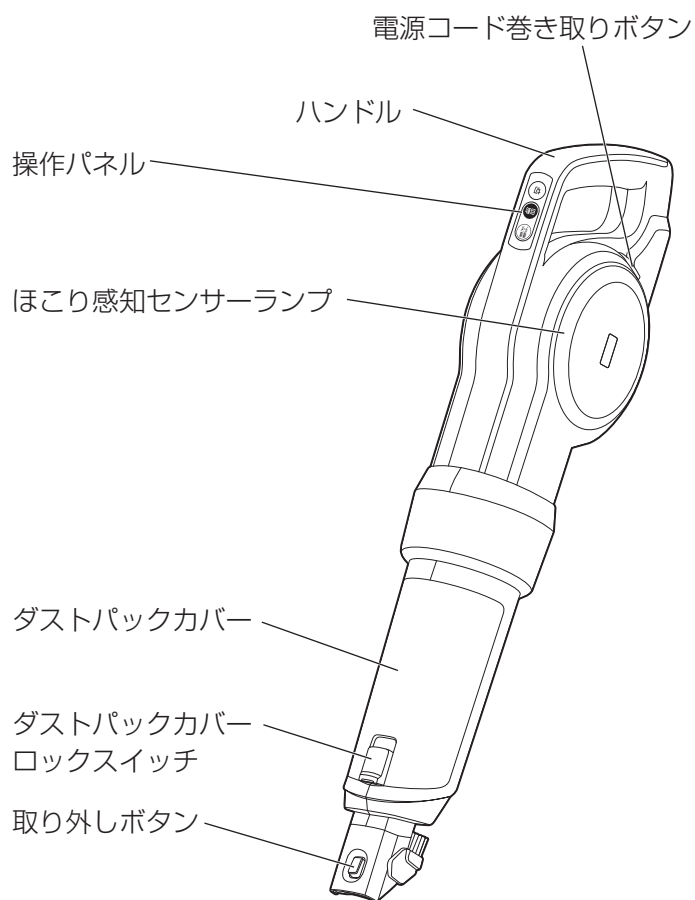
3 電源プラグを接続し、再度操作して正常になったことを確認する

モーターの温度が下がると保護装置が解除され、再び使用できるようになります。

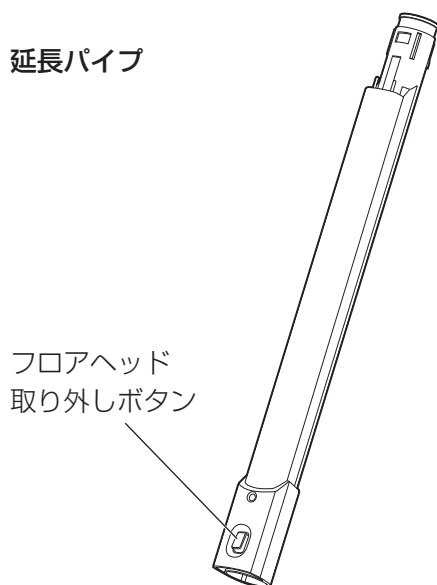
※ 取り除けないごみなどについては、アイリスコールへご相談ください。

各部の名称

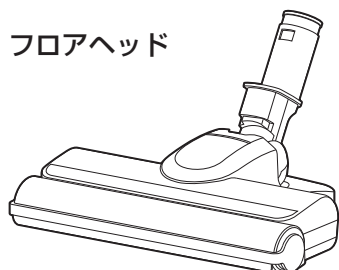
本体



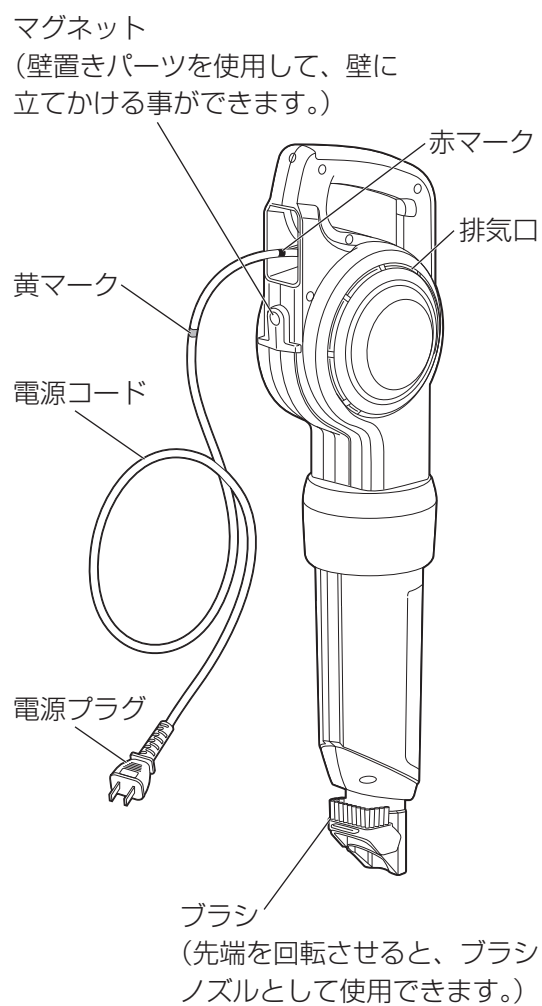
延長パイプ



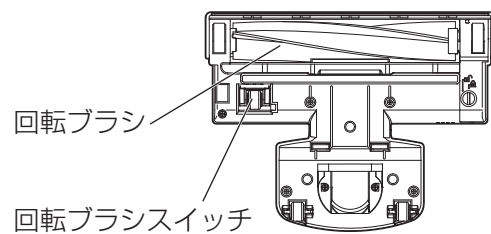
フロアヘッド



本体背面

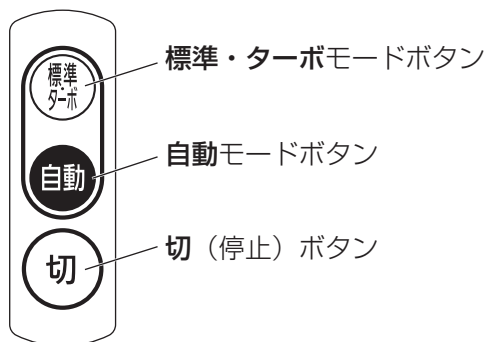


フロアヘッド底面



各部の名称 つづき

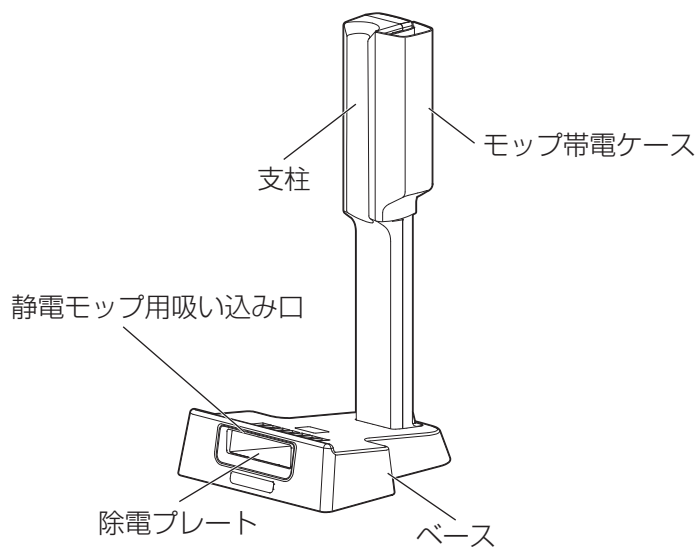
■操作パネル



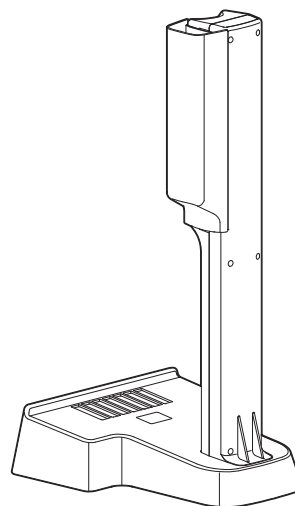
手前側

■付属品

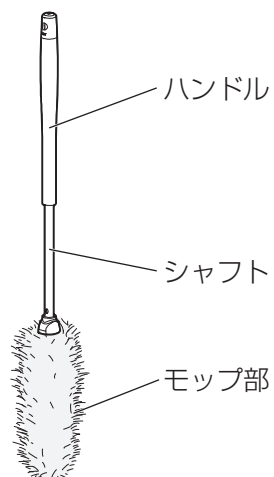
スタンド



スタンド背面



静電モップ

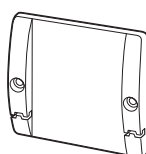


使い捨てダストパック

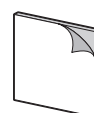


×25枚
(1枚は本体内にセット済み)

壁置きパーツ



予備接着シート



ねじ×2



準備

■ スタンドの組み立て

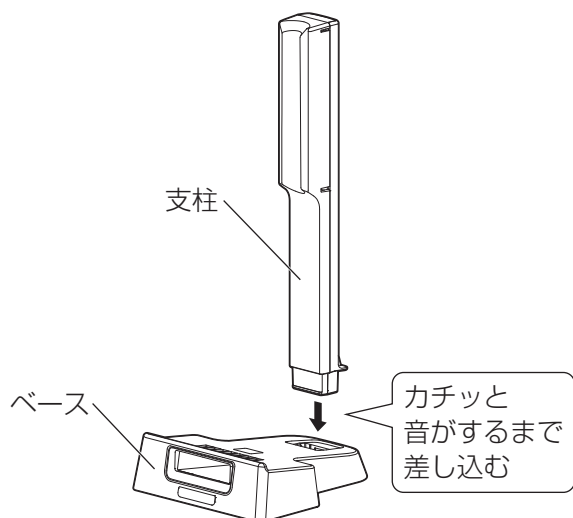


注意

- 必ず壁際で使用する
- じゅうたんの上など不安定な場所に置かない
- フローリングなど、固い安定した床の上に置く
万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品の破損の原因になります。

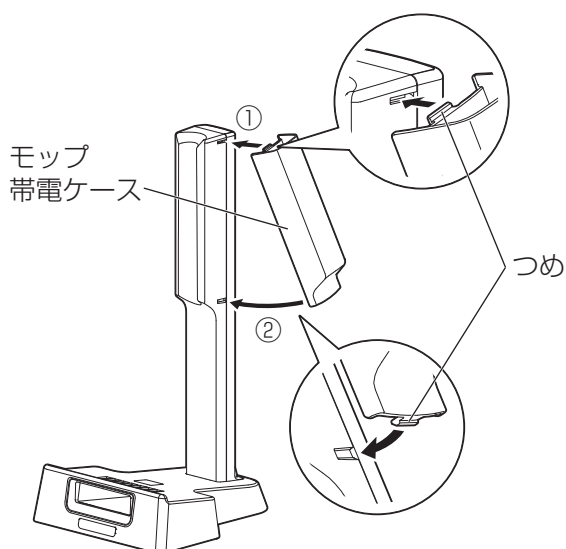
1 組み立てる

- ・ベースの差し込み穴に、支柱をしっかり差し込んでください。



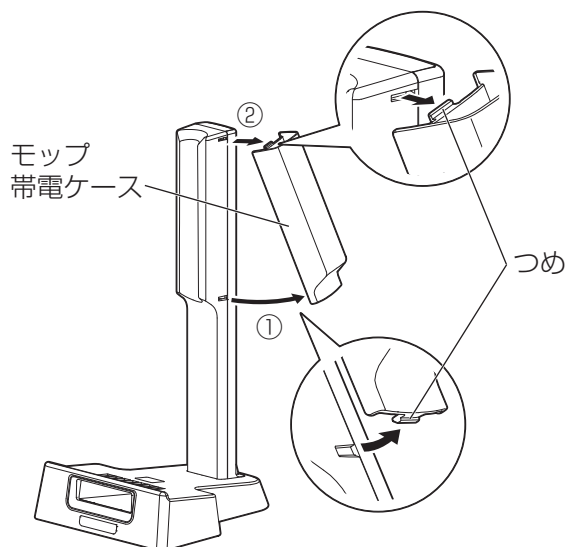
2 モップ帯電ケースを取り付ける

- ①モップ帯電ケースの上側のつめを、支柱の上端の穴に差し込む
 - ②モップ帯電ケースの下側のつめを、支柱の下側の穴に、パチンとなるまでしっかり差し込む
- ・モップ帯電ケースは、支柱の左右どちらでも取り付けできます。



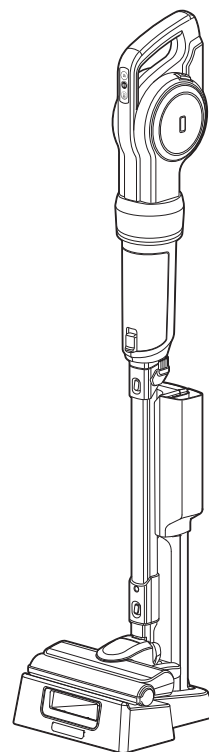
モップ帯電ケースの外しかた

- ①モップ帯電ケースの下側を引っばってつめを外す
- ②上側を引いてつめを外す



クリーナーを立てかける

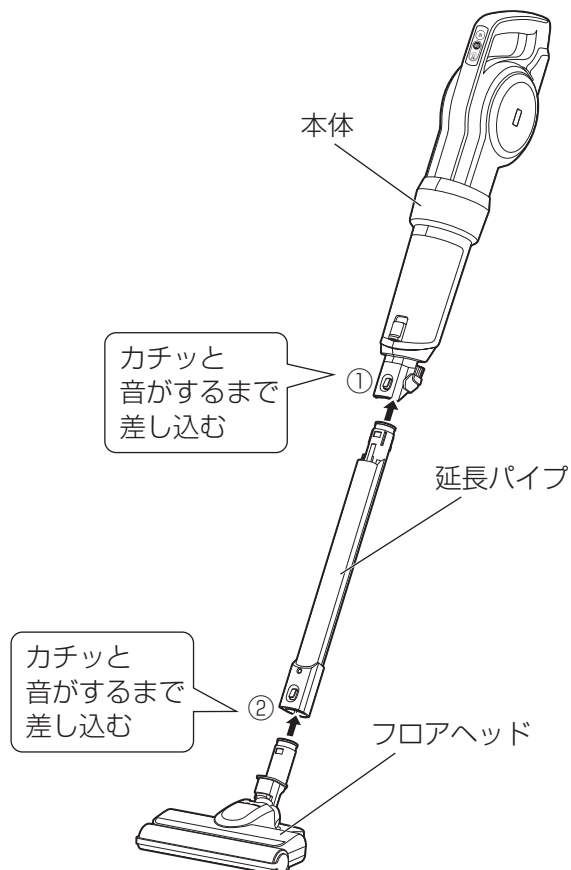
- ・スタンドを組み立てたら、クリーナーを立てかけることができます。
- ・静電モップのごみを吸い取る時は、電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに接続してください。



■クリーナーの組み立て

スティッククリーナーとして使用するとき

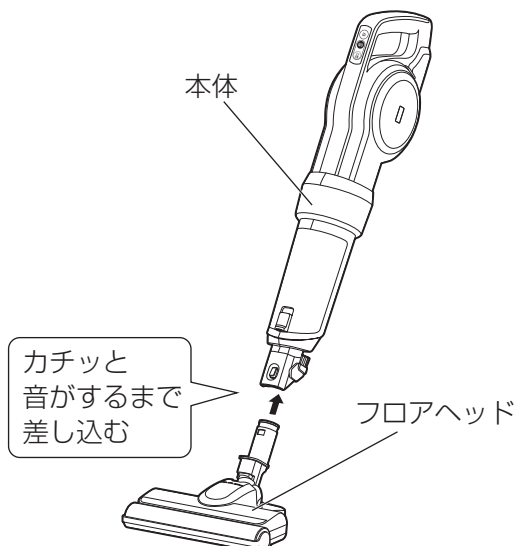
- ①本体に延長パイプを差し込んでください
- ②延長パイプにフロアヘッドを差し込んでください



※組み立てた後は、倒れないように横に寝かせるか、壁置きパーツまたはスタンドを使用して立てかけてください。

ハンディクリーナーとして使用するとき

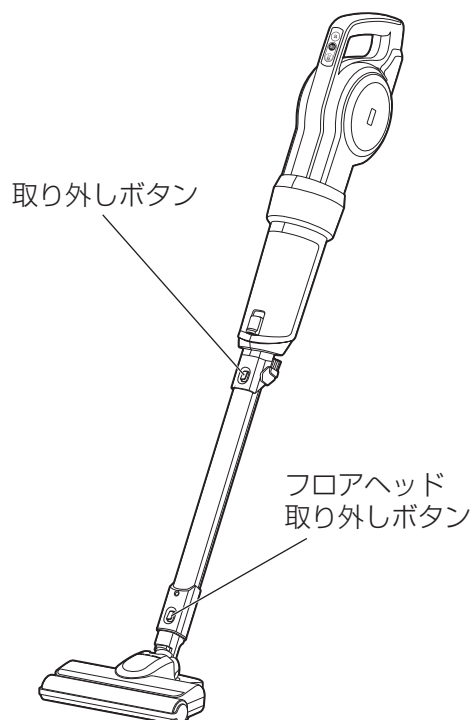
- 本体にフロアヘッドを直接差し込んでください。



※組み立てた後は、倒れないように横に寝かせて置いてください。

延長パイプ・フロアヘッドの取り外しかた

- フロアヘッドを取り外すには、延長パイプのフロアヘッド取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。
- 延長パイプを取り外すには、本体の取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。

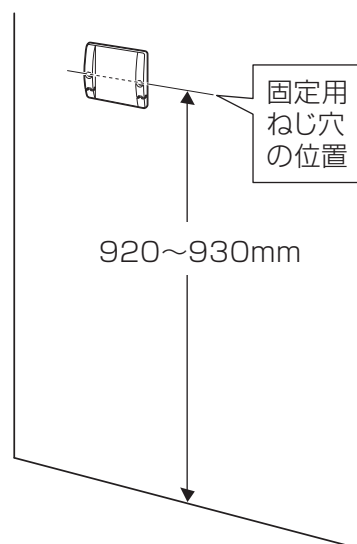


■壁置きパーツの使いかた

壁置きパーツを使用すると、本体背面のマグネットで壁に立てかけて置くことができます。

1 取り付け位置を決める

- 取り付けの高さは図のようにしてください。



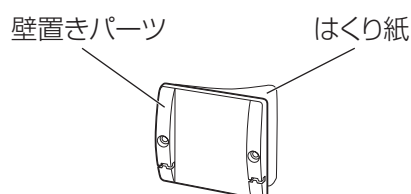
2 壁置きパーツを壁に取り付ける

接着シートを使用する場合

接着（使用）できない壁面の材質と場所	
材質	ポリプロピレン、ポリエチレン、軟質ゴム
場所	紙壁、砂壁、繊維壁、はがれやすい塗装面、フッ素・シリコーンなどで処理された面 凹凸の激しい面、常に高温・高湿になる場所、水分が染み込みやすい面、屋外、壁紙のつなぎの部分や周辺

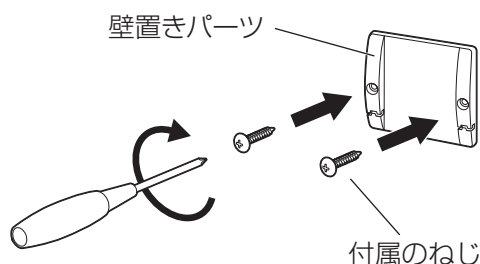
- 低温では貼り付きにくいので、室温10℃以上で貼り付けしてください。
- 壁紙やプリント合板などの壁の状態によっては、貼り付け面を傷めたり、変色の原因になったりすることがあります。
- 壁紙の種類によっては、はがれやすいので、ねじ止めしてください。
- 場所を移動する場合、接着シートは再利用できないので、予備の接着シートを使用するか、市販の接着シート（ニトムズ製はがせる両面接着シート：T3973）を使用してください。

- ① 接着シートを貼る面についたほこりや油、水分をきれいに拭き取って乾かしてください。
- ② 接着シートのはくり紙をはがして貼り付け、十分に圧着してください。接着シートの本来の接着力が得られるまで24時間かかります。それまでは大きな力をかけないでください。



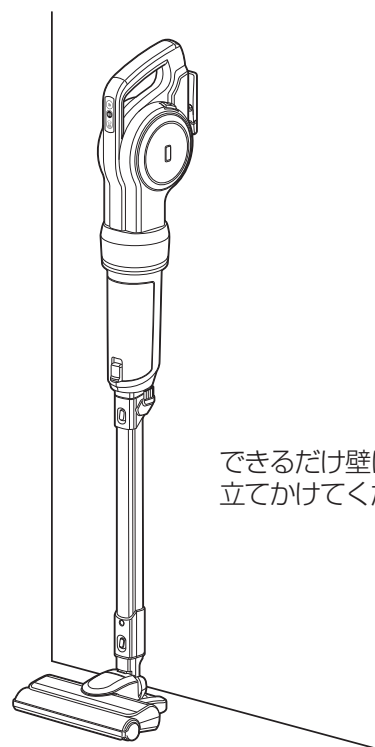
ねじ止めする場合

- 接着シートを使用できない場合は、はくり紙をはがさずに、ねじ止めしてください。
- 固定用ねじ穴に、付属のねじを通して取り付けます。



3 壁置きパーツに本体を立てかける

- 本体をできるだけ壁に寄せて、本体を垂直に立てかけてください。
- マグネットがしっかり貼り付いて、容易に倒れないことを確認してください。



できるだけ壁に寄せて、立てかけてください。



注意

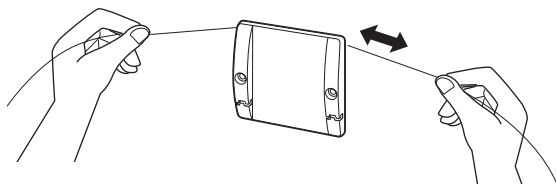
- 壁置きパーツを使用しないで壁に立てかけないでください。
- 必ず垂直に立てかけてください。倒れるおそれがあります。

準備 つづき

■ 接着シートのはがしかた

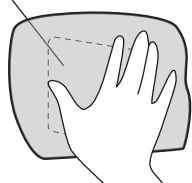
場所を移動したり、廃棄したりするときは、次のようにして接着シートをはがします。

- 1 糸などを壁置きパーツと壁の間に差し込み、動かしながら接着シートを引き裂く



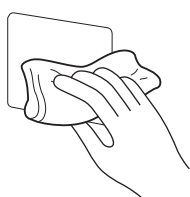
- 2 ティッシュペーパー（またはタオル）に水を含ませ、軽くしぼって、残った接着シートの全体をおおうように10秒程度押さえる

残った接着シート



- 3 乾いたティッシュなどで軽くふき取る

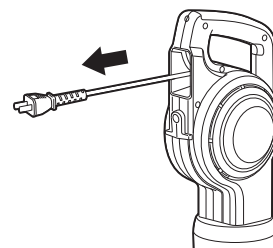
※ はがれないときは、2、3を繰り返してください。



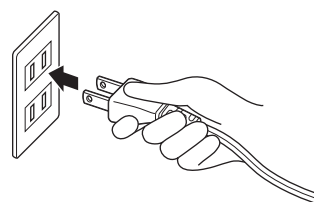
使いかた

- 1 電源コードを引き出す

- ・ 黄マークまで引き出してください。
- ・ 赤マーク以上は引き出さないでください。



- 2 電源プラグをコンセントに接続する

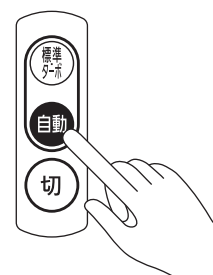


- 3 ボタンを押して運転モードを選ぶ

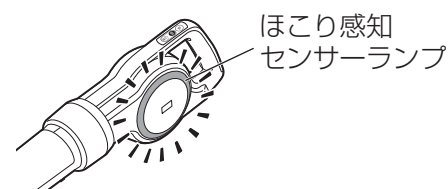
- ・ 選択したモードで運転が始まり、フロアヘッドを床につけると、内蔵された回転ブラシが回転します。

自動モード

- ・ **自動**モードボタンを押すと、自動モードで運転開始します。



- ・ 自動モードでは、ほこり感知センサーで感知したごみの量によって、吸引力を調節して運転します。



ごみの量	ほこり感知センサーランプ	吸引力
多いとき	赤に点灯	強
少ないとき	青に点灯	弱

※ じゅうたん・寝具などで使用した場合、遊び毛や内部にたまったハウスダストを感知するため、連続して吸引力を強くして運転することがあります。

標準・ターボモード

- ・ **標準・ターボモード**ボタンを押すと、標準モードで運転開始します。**標準・ターボモード**ボタンを再度押すと、ターボモードに切り替わって運転します。

※ **標準・ターボモード**ボタンを押すたびに、標準とターボのモードが切り替わります。

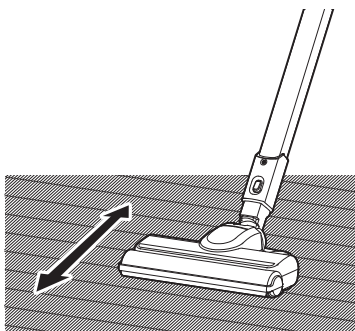


- ・ ほこり感知センサーランプは標準・ターボのモードでも点灯します。ランプの色をめやすに、標準／ターボを切り替えて使用してください。

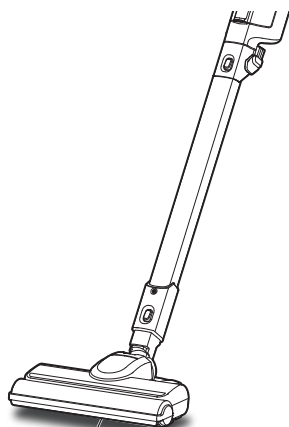
4 掃除する

床など

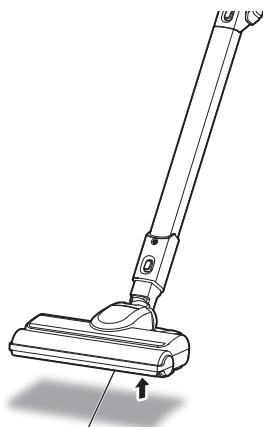
- ・ フロアヘッドを使用して、前後にゆっくりと動かしながらごみを吸い取ってください。
- ・ たたみを掃除するときは、たたみの目に沿ってフロアヘッドを動かしてください。



- ・ フロアヘッドを床につけると、内蔵された回転ブラシが回転します。
- ・ フロアヘッドを持ち上げると、回転ブラシの回転は止まります。



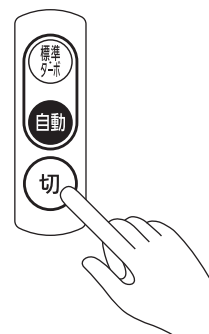
回転する



回転が止まる

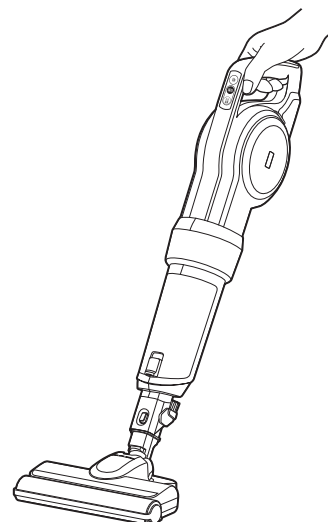
5 掃除が終了したら、切ボタンを押す

- ・ 運転が停止します。



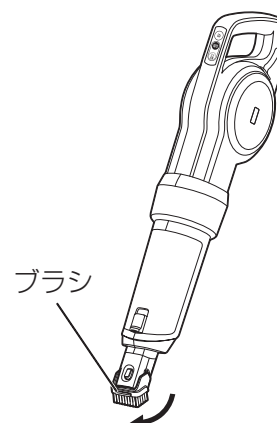
■ハンディクリーナーとして使用する

延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。



ブラシノズルを使用する

- ・ フロアヘッドを取り外して、吸い込み口のブラシを回転すると、ブラシノズルとして使用できます。



ブラシ

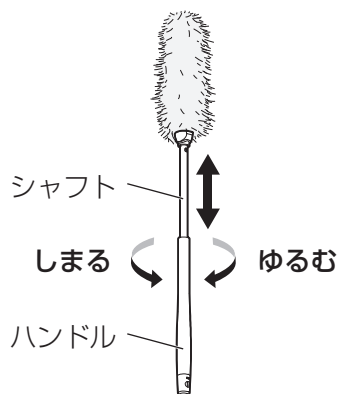
■ 静電モップの使いかた

静電モップは、モップ帯電ケースに入れておくことで帯電して、効率よくごみやほこりを吸着することができます。

ごみやほこりを吸着した静電モップを、スタンドの吸い込み口に入れ、前後に動かすと、静電気を除去しながら、静電モップについてのごみ・ほこりをクリーナーで吸い取ることができます。

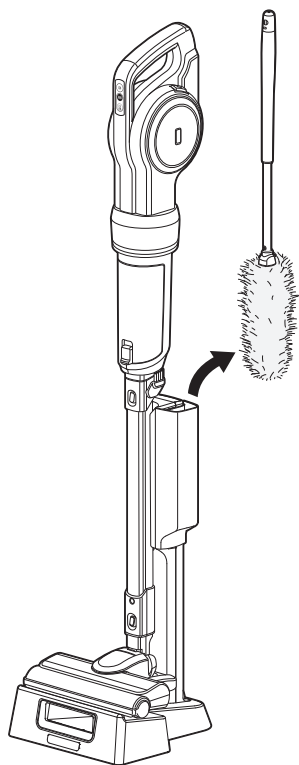
静電モップは、ハンドルを伸縮することができます。

- ・ハンドルを時計方向に回してロックをゆるめ、長さを調節したら、ハンドルを反時計方向に回してロックしてください。



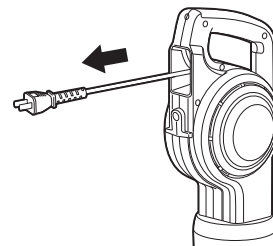
1 静電モップで掃除する

- ・モップ帯電ケースから静電モップを取り外して使用してください。
- ・静電モップは、クリーナーでは届きにくい棚の上などを掃除するのに適しています。

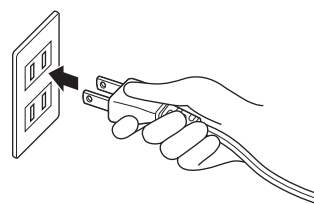


2 電源コードを引き出す

- ・黄マークまで引き出してください。
- ・赤マーク以上は引き出さないでください。

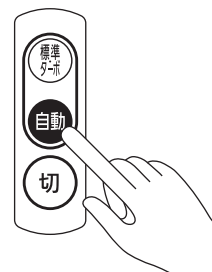


3 電源プラグをコンセントに接続する



4 クリーナーをスタンドに立てかけ、ボタンを押す

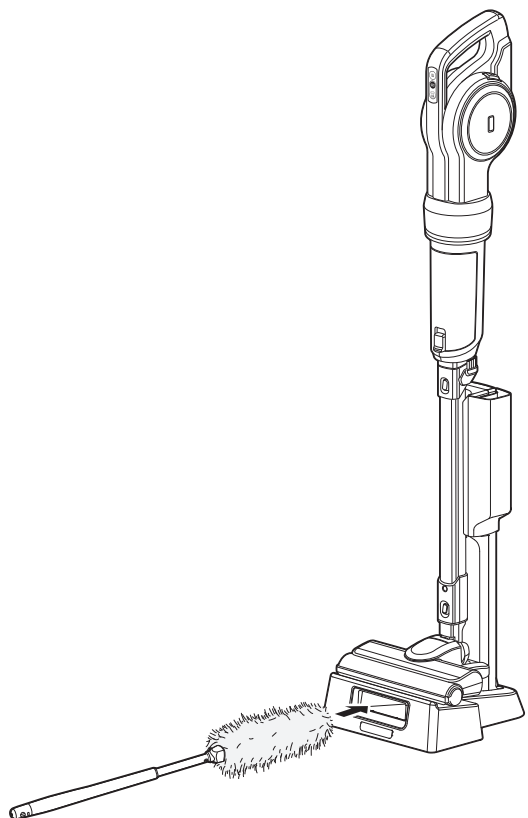
- ・自動モードを選んでください。
- ・回転ブラシが回転します。



※ ごみが取れにくいときは、ターボモードを選んでください。

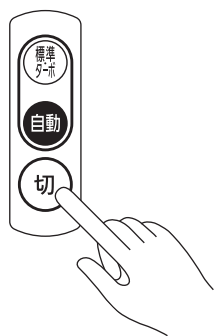
5 スタンドの吸い込み口に静電モップを差し込み、ごみを吸い取る

- ・ 静電モップを前後に動かすと、除電プレートで静電気を除去しながら、静電モップの汚れを吸い取ることができます。



- ・ 終了したら、静電モップをモップ帯電ケースに収納してください。

6 電源を切る



■ ごみ捨て

ダストパックにごみがたまると、吸引力が低下します。ダストパックが満杯になる前に、ごみを捨ててください。

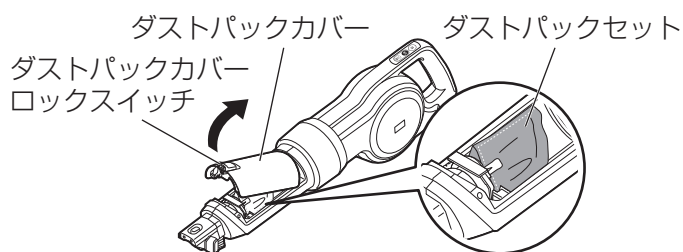


注意

- ごみ捨ては、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いて行ってください。

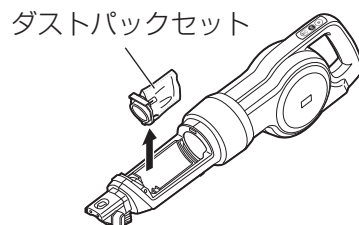
1 ダストパックカバーを開ける

- ・ ダストパックカバーロックスイッチをスライドして、ダストパックカバーを持ち上げてください。



2 ダストパックセットを取り外す

- ・ まっすぐ上に引いて取り外してください。



3 ごみを捨てる

- ・ 使い捨てダストパックの角をつまんで、パックホルダーから外し、そのまま捨ててください。
- ※ ごみが落ちることがあるので、ごみ箱の上で取り外してください。
- ※ パックホルダーは捨てないでください。



使いかた つづき

4 新しいダストパックを取り付ける

- ・使い捨てダストパックを、パックホルダーの4か所のクリップの根元まで差し込んでください。

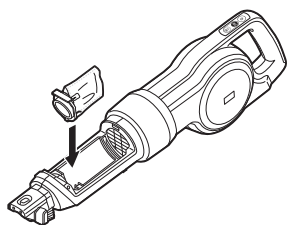


※ 使い捨てダストパックは必ず取り付けて使用してください。

※ クリップは無理に広げないでください。

5 ダストパックセットを本体に取り付ける

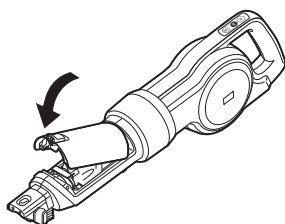
- ・元の位置に、上からまっすぐ差し込んでください。



※ 使い捨てダストパックがダストパックカバーにはさまれないように、中に押し込んでください。

6 ダストパックカバーを閉める

- ・カチッと音がするまで、しっかり閉めてください。



お手入れ



注意

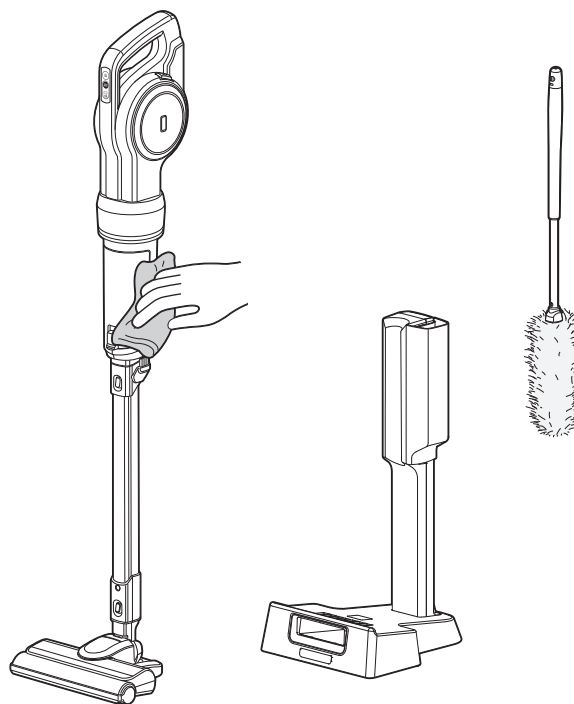
- お手入れは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いて行ってください。
- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

本体・延長パイプ・フロアヘッド外側・スタンド・静電モップハンドル

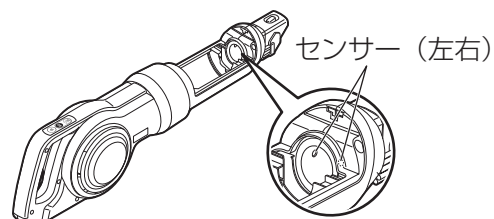
1週間に1回程度

- ・水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- ・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。



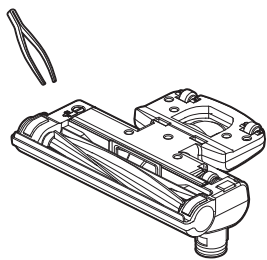
ほこり感知センサー 1週間に1回程度

- ・ダストパックカバーを開け、ダストパックセットを取り出して、吸い込み口内部左右にあるセンサーを、綿棒または指にティッシュなどを巻きつけて、拭いてください。
- ・センサーにごみが付着すると、誤動作の原因になります。定期的に掃除してください。

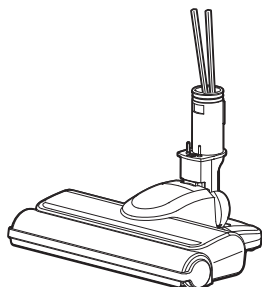


フロアヘッド ごみがつまったら

- 回転ブラシや吸い込み口にゴミがからみついたら、ピンセットなどで取り除いてください。



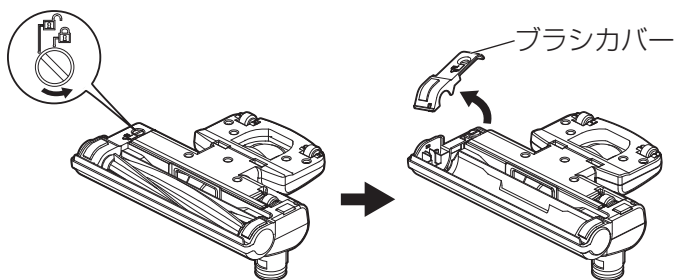
- フロアヘッド内部にゴミがつまると、吸引力が低下します。
定期的に点検して、ゴミがつまっていたら、ピンセットや割ばしなどで取り除いてください。



回転ブラシ 汚れが目立ってきたら

1 ブラシカバーを取り外す

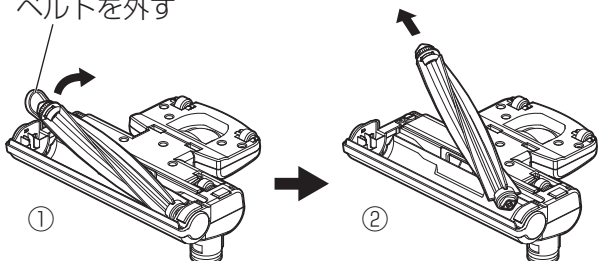
- コインなどでブラシカバーのロックねじを解除（）のほうに回し、ブラシカバーを取り外します。



2 回転ブラシを外す

- ① 回転ブラシのベルト側を持ち上げてベルトを外します。
- ② 回転ブラシをベルト側に引いて、反対側の回転軸から取り外します。

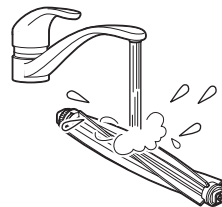
ベルトを外す



3 回転ブラシを水洗いする

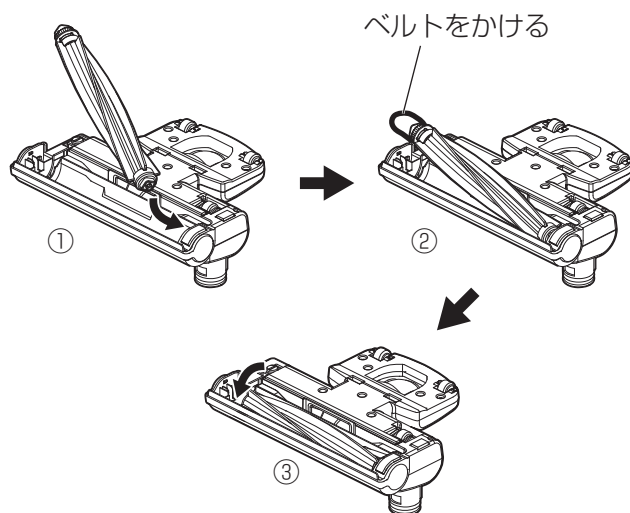
※ 回転ブラシにゴミがからみついているときは、水洗いする前にはさみやピンセットなどで取り除いてください。

- 水洗いした後、よく乾かしてください。



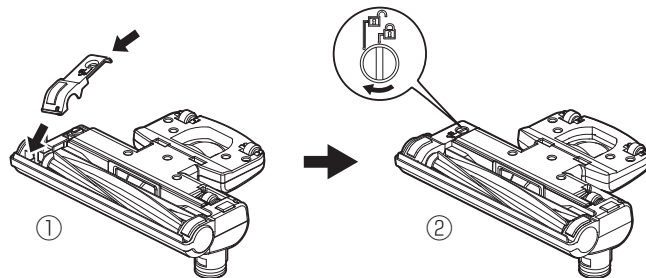
4 回転ブラシを取り付ける

- ① 回転ブラシの歯車の付いてないほうを、ベルトと反対側の回転軸に差し込み、
- ② 歯車にベルトをかけ、
- ③ 回転ブラシをはめ込みます。



5 ブラシカバーを取り付ける

- ① ブラシカバーのつめをフロアヘッドの前端内側に引っ掛け、
- ② ブラシカバーを押さえながら、コインなどでロックねじをロック（）の方へ回します。



お手入れ っづき

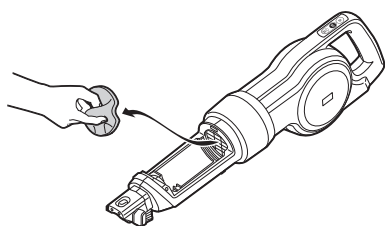
スポンジフィルター 3か月に1回程度

1 ダストパックセットを取り外す

- ・13～14ページ「ごみ捨て」を参照して、ダストパックセットを取り外してください。

2 スポンジフィルターを取り出す

- ・ダストパック収納部の奥からスポンジフィルターをつまんで取り出してください。



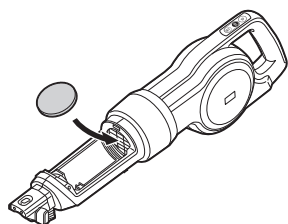
3 スポンジフィルターを水洗いする



- ・洗った後は、よく水を切り、よく乾かしてください。

4 スポンジフィルターを取り付ける

- ・ダストパック収納部奥へ取り付け、ドライバーなどでスポンジフィルターの全周をすき間のないように押し込んでください。



5 ダストパックセットを取り付け、ダストパックカバーを閉める

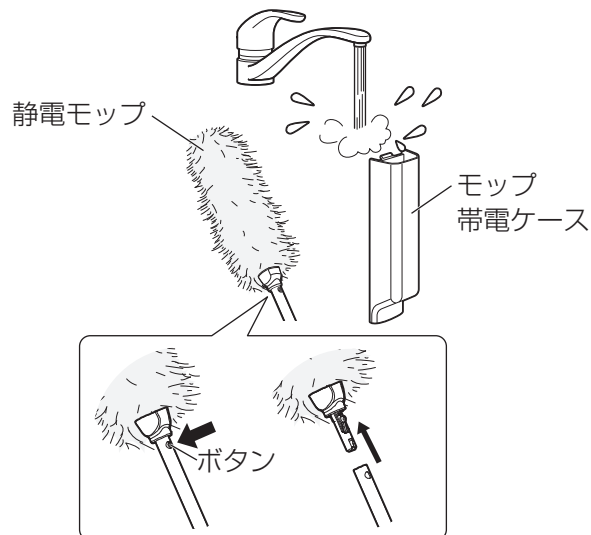
- ・13～14ページ「ごみ捨て」を参照して、ダストパックセットを取り付け、カバーをしっかりと閉めてください。

- スポンジフィルターは十分に乾かしてから取り付けてください。
- スポンジフィルターは、必ず取り付けてください。故障の原因になります。

静電モップ・モップ帯電ケース

汚れが目立ってきたら

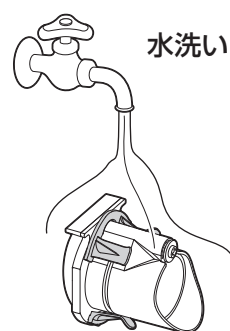
- ・モップ帯電ケースを水洗いし、よく水を切り、よく乾かしてください。
- ・静電モップは、シャフト先端のモップ取り付けボタンを押して取り外します。モップ部を水洗いして、よく水を切り、よく乾かしてください。



※モップ部を取り外すには、ハンドルのシャフト先端のボタンを押しながら、モップ部を引き抜いてください。指で押しにくいときは、ペン先などで押してください。

パックホルダー 汚れが目立ってきたら

- ・パックホルダーが汚れた場合は、水洗いして、よく乾燥させてください。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (動作しない)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●次のような原因でモーターの保護装置が働いている ・パイプにごみがつまった ・吸い込み口・排気口がふさがれている ・ビニールなどを吸い込んだ	●電源を切った後、つまったごみを取り除いたり、ダストパックを交換したりして原因を取り除き、「モーターの保護装置について」(→P4)の手順にしたがってください。
吸引力が弱い	●ダストパックカバーがきちんと閉まっていない	●ダストパックカバーをきちんと閉めてください。
吸引力が弱い 運転音が大きい	●ダストパックにごみがたまっている	●ごみを捨ててください。(→P13～14)
	●スポンジフィルターが目づまりしている	●スポンジフィルターをお手入れしてください。(→P16)
	●フロアヘッド・延長パイプにごみがつまっている	●フロアヘッド・延長パイプをお手入れしてください。(→P14～15)
使用中に吸引力が下がった	●ごみが詰まったので、加熱防止のために、自動的に吸引力を下げて運転している	●ごみを捨ててください。(→P13～14) ●回復しないときは、スポンジフィルターのお手入れをしてください。(→P16)
運転中に吸引力が強くなったり弱くなったりする	●自動モードで運転している	●自動モードでは、ほこり感知センサーランプの色に合わせて吸引力の強弱が切り替わります。(→P10)
ほこり感知センサーランプが赤くならない	●ほこり感知センサーが汚れている	●ほこり感知センサーを清掃してください。(→P14)
	●フロアヘッドまたは延長パイプを取り付けずに使用していると、ほこり感知センサーに外光が入って誤動作することがある	●誤動作がおさまらない場合は、フロアヘッドまたは延長パイプを取り付けて使用してください。

故障かな？と思ったら つづき

ほこり感知センサーランプが青にならない	●じゅうたん・寝具などで使用している	●遊び毛や内部にたまったハウスダストを感知するため、連続して赤く光ることがあります。
ほこり感知センサーランプの色が変わったのに、吸引力が変わらない	●標準またはターボモードで運転している	●標準またはターボモードでは、ほこり感知センサーランプの色に関係なく、そのモードで運転します。ほこり感知センサーランプに合わせて吸引力を変えたいときは、自動モードで運転してください。(→P10)
使用中、本体が温くなる	●モーターの発熱のため、本体が少し温くなる	●異常ではありません。
回転ブラシが止まる	●回転部にゴミやひもが巻きついたり、つまっていたりする	●フロアヘッドをお手入れしてください。(→P15)
	●フロアヘッドを持ち上げた	●フロアヘッドを持ち上げると、安全のため回転ブラシの回転が止まります。
電源コードが引き出せない	●中で電源コードが片寄って、引っかかっている	●無理に引き出さず、電源コード巻き取りボタンを押しながら、巻き取り・引き出しを繰り返して、少しずつ引き出してください。
電源コードが途中でしか巻き取れない	●中で電源コードが片寄って、引っかかっている	●電源コードを1～2m引き出してから、電源コードを持った状態で、再度電源コード巻き取りボタンを押してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

長年ご使用のクリーナーの点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか ●電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする ●電源プラグ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ●本体が変形したり、異常に熱い ●運転中、ときどき止まる ●運転中、異常な音がある ●電源を入れても動かないことがある ●その他の異常・故障がある	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

仕様

電源	AC100V、50 / 60Hz
消費電力	600W
吸込仕事率※1	100W (最大値120W～最小値約15W※2)
集じん容積	0.4L
製品寸法（延長パイプ・フロアヘッド装着時）	幅235×奥行250×高さ1,052mm
製品質量（延長パイプ・フロアヘッド装着時）	2.3kg
電源コード長さ	4m
付属品	使い捨てダストパック×25枚 (1枚 本体内にセット済み)、 壁置きパーツ、スタンド、静電モップ、 モップ帯電ケース、ねじ×2本、接着シート（予備）

※1 日本工業規格C9108にもとづく測定方法による。

※2 最大値は延長パイプを付けないハンディ状態を想定したターボモード時、最小値は延長パイプを付けた状態での自動モード最小出力時。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

キャニスティッククリーナー KIC-CSP5

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				※付属品及び消耗部品を除く	
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) 0800-888-2600

Web からのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールアドレスにご記入のうえ送信してください